

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%

保護者様： 28名回答、回答率 90.3%

職員の意見

○環境・体制整備

広い訓練室なので児童が体を思いきり動かして活動を行うことができる。
運動スペースと勉強スペースを分けている。

○業務改善

本社での研修の他、教室内でも月1回は研修も行っている。個々に振り返りシートを作成し、目標と振り返りを上司と共有するようにしている。第三者評価については今後行っていく予定。

○適切な支援の提供

役割分担をしながらチーム一丸となって行っている。ミーティングでも話し合いの機会を定期的に設けている。活動に関しては計画だけでなく振り返りの話し合いを持っている。活動案は児童にあった療育道具を使ったり活動の度合いを図りながら決めたりしている。分担を決めて職員の動きの効率化に努めている。

○関係機関や保護者との連携

児童に変化があり連携での対応が必要となった場合には適宜ミーティングを行い正確な情報共有に努めている。学校へお迎えに行く際には下校時刻表を受け取るケースもある。

○保護者への説明責任等

送迎時に一日の様子などを伝えている。連絡帳のコメントに返したり会話を通して児童の様子を伝えている。保護者からの相談に関して、ミーティング内で話し合ったり、心理士に助言を求めたりして、適切に支援できるようにしている。

○非常時等の対応

毎月避難訓練を行っている。事務所内に全児童のアレルギー一覧を貼り、職員が把握できるようにしている。ヒヤリハットにおけるミーティングを作成時に行い、改善策について全員で共有している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

教室中央部に柱があるが、クッションが付いているので安全面が保たれている。

○適切な支援の提供

イベントを取り入れてくれる。子どもたちが楽しみながら通える環境作りを行っている。

○保護者への説明等

面談や育児に関する助言等の支援も行われている。日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達状況や課題について共有理解ができている。苦情があった場合、迅速かつ適切に対応している。

○非常時等の対応

緊急マニュアル等の説明、避難訓練はきちんと行われている。

○満足度

「日々の通所を何よりも楽しみにしている」や「療育面での成長がある」との声が上がっている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・地域の作業所等に訪問を行い交流を図る。
- ・ペアレントトレーニング等の講演会の企画を検討する。
- ・保護者同士の交流が深まるような保護者会を企画する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者参加型の課外活動を行い、保護者同士の交流を図った。
- ・ペアレントトレーニングや地域訪問ができていない為、来年度は予定を立てて実施していきい。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・通所している児童一人ひとりに照準を合わせた支援を行っている。
- ・開室当時のスタッフが過半数の為、保護者や児童・学校との関係性が強い。
- ・手作りの療育グッズや様々なイベントが満足度に繋がっている。

○改善点

- ・保護者の交流支援
- ・地域交流



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・土曜日や祝日に開室を行い、日々の療育を保護者の参加型で行う。児童の教室内での日々の様子や南崎第二教室の支援を体感していただく。
- ・ペアレントトレーニングや専門講師を派遣しての講演会を実施。
- ・作業所等との地域交流の計画する。

○1年間で取り組む具体策

- ・地域の作業所等に訪問を行い交流を図る。
- ・ペアレントトレーニング等の講演会の企画を検討する。
- ・保護者同士の交流が深まるような保護者会を企画する。

スマートキッズ